

山口市環境審議会委員からの意見一覧表

No.	関連ページ	内 容	対応(回答)
1	目次(2ページ目)	やまぐちの自然環境・生物多様性の保全 → 「 」が抜けている。	「 」を追加します。
2	P. 4	1段目、2段目、3段目に主語がないので、それぞれ、「宣言されました」、「規定されました」、「改訂されました。」とした方が良いのではないかと。	それぞれ「されました。」とします。
3	P. 4	<本市の状況> のところで、自然共生分野、資源循環分野で、特筆すべきところはないのか。	平成30年度からの5年間に於いて特筆するような状況変化はないものと考えております。
4	P. 10	「シビックプライド」あまりなじめないのではないかと。	山口市においては上位計画である山口市総合計画において「シビックプライド」の創造を掲げており、そちらと整合を図っております。御意見を踏まえて、分かりやすくするため、「シビックプライド(愛着や誇り)」とします。
5	P. 11	●● の部分 「未来の子ども達が安心して生活できる省エネ・低炭素のまち」はどうか。	策定部会の中で検討します。
6	P. 13	図について。既存の物では、図も小さく、あまり役割を果たしていない。位置づけがよくわからない。	最終校正の際に図の削除も含めて検討します。
7	P. 19	・担い手への農地集積率の説明が表の下にあったほうがいい。 ・生物多様性の認知度➤生物多様性の重要性を理解している市民の割合？	説明を記載することとします。 山口県環境基本計画と整合を図る形としてアンケートを実施しております。次回の計画策定の際に検討させていただきます。
8	P. 25	進行管理指標は他にないのか。 山口市の都市景観に誇りを感じる市民の割合、など	景観やまちなみに満足している市民の割合を追加します。

山口市環境審議会委員からの意見一覧表

No.	関連ページ	内 容	対応(回答)
9	P. 29、P. 31	進行管理指標の数がアンバランスではないか。 既存のサーマルリサイクルやバイオガス利用量も重要な指標と思う。	この5年間で施設改修を終え運用を開始したことから、目標にはなじまないものとして整理をし、いただいた御意見を踏まえてモニタリング指標として年次報告である山口市環境概要において毎年進行管理を行います。
10	P. 43	V2H 解説不要か。 *をつけるかして説明があった方がよくないか。	最終校正の際に用語解説に追加します。
11	P. 45	・進行管理指標14指標は他に比べて多いが、太陽熱温水器を加えてはどうか。 ・再生可能エネ設備を設置または設置予定 曖昧な感じがする。 無くても良いのでは。	市内の設置件数の把握が困難な状況です。 上位計画である山口市総合計画の基本事業における成果指標としております。次回の計画策定の際の参考とさせていただきます。
12	P. 49	雨水調整池、雨水貯留槽、雨水浸透ますの設置に加えて、「敷地内浸透面の保持」を加えてはどうでしょうか。	総合浸水対策にかかる計画との整合を図る形で記載をしております。都市整備部に御意見があったことの情報共有を図りました。
13	P. 58	山口市食料・農業・農村振興プラン、山口市有機農業推進計画も充実させてはどうか。 「多面的機能の維持や、食料の地産地消を図るため、多様な担い手・・・」、としてはどうでしょうか。	山口市食料・農業・農村振興プラン、山口市有機農業推進計画の充実については、農林水産部に意見があったことの情報共有を図りました。食料の地産地消の記述については御指摘を踏まえて加筆しました。
14	P. 59	進行管理指標として、2つは少なくないか。 「道の駅の農産物売上高」は継続しても良いのでは。	策定部会の中で再検討します。

山口市環境審議会委員からの意見一覧表

No.	関連ページ	内 容	対応(回答)
15	P. 61	<p>・重点プロジェクトの下の部分、教育の扱いについて。 なぜ自然共生のみに教育があるのか。「自然共生」、「ごみ減量」、「温暖化対策」として、環境目標の分野横断的目標に対応して、教育・啓発関係に対応した進行管理指標を設定すべきだと思います。</p> <p>環境目標2>「3Rやごみ減量などを心がけている市民の割合」 環境目標3>「ゼロカーボンシティの評価し支援する市民の割合」 環境目標4>たとえば、山口県環境学習推進計画(2020年3月)に謳われている、「ESDの視点に立った環境教育」に力を入れている小中高校の割合」を把握できれば有効な管理指標になるように思います。是非教育委員会とご相談いただければと思います。</p> <p>あるいは、この部分は、P.55の進行管理指標に加えて、「重点プロジェクトを進めるための環境教育・啓発の現状を評価する市民の割合」といったものにするか。</p> <p>・快適な生活環境が整っている市民の割合はP.23の再掲でもあり、不要ではないか。</p> <p>・それぞれの重点プロジェクトあるいは環境目標に対して分かりやすい進行管理指標があるべきではないか。</p>	<p>御指摘を踏まえて、位置づけとねらいに「環境教育、環境学習の重要性」の記載を加筆することとして整理します。</p> <p>進行管理指標については、「山口市環境基本計画」が「山口市総合計画」の部門計画の意位づけとなりますことから、今後5年間における重点的な取組により、本計画の目指す環境像の実現に加えて、上位計画の成果指標を達成することに主眼をおくこととして、この3つの指標を掲げることとしております。</p> <p>なお、環境教育に係る進行管理指標は環境目標4に位置付けることとして整理をします。</p>
16	-	<p>再生エネルギー発電は、蓄電できてはじめて役をなすと考えています。</p> <p>自動車用リチウムイオンバッテリーの中古品の処理が、これから問題となります。</p> <p>実際に既に、家庭用の蓄電池に利用しているところもあると聞いています。</p> <p>今回のプロジェクトは、発電量と地区の消費量の差引計算で運用されるわけですが、それよりもより実用的に、余剰電力の一部を中古バッテリーに蓄電し、災害時の避難所などに予めストックしておくの良いのでは無いかと思います。既に、太陽光パネルなどが付いた市施設ならより簡便化と思います。</p> <p>バッテリーから、時前で使用できることで、便利になりますし、放電したら、その分を簡単に補充できます。また、中古バッテリー利用なら、費用も節約できるのでは無いかと思います。</p> <p>V2Hは、何も新車のEVを買わなくてもできると思います。</p> <p>もし、可能であれば、今回の冊子に載らなくても検討課題の末席に加えて頂けるとありがたいです。</p>	<p>御意見を踏まえ、市(行政)の取組として掲載することとします。</p>